

戦争法案必ず廃案に

弁護士会 奮闘の夏

集会・パレード・シンポ・講師派遣

幅広い団体・市民が共同

大分

戦争法案廃案を訴え、大分市で22日、大分県弁護士会主催の集会・パレードが、おこなわれました。県内の弁護士と幅広い市民、団体、生、子育て世代の母親らが

「いのちを守れ」など、スピーチしました。「安保」が成立もしていないのに戦争準備が着々と進められていくことに腹が立つ。戦争に行かせるためにこの子たちを育てているわけではない」と訴え、会場から大きな拍手が起きました。

奈良

奈良弁護士会は22日、「憲法違反の安全保障関連法案の廃案を求める市民集会・パレード」をそれぞれ、憲法違反です」と奈良公園でおこなった300人以上が参加しました。同弁護士会の児玉修一会長が「一人一人の命は小さく、政府によって再び戦争の惨禍を繰り返させないことで、他国に行くと他国の人を殺さなくていい社会、自由にもがける社会を守りましょう」と開会あいさつしました。

日弁連、26日大集会

戦争法案を廃案に追い込もうと、全国各地の弁護士会が取り組みを広がっています。日本弁護士連合会によると、弁護士会が呼びかけた大規模な集会やパレード、街頭宣伝、シンポジウムなどは、戦争法案が衆院本会議で強行採決された7月16日以降だけでも22都道府県で行われました。各種集会、学習会に弁護士が講師として参加するケースも多くあります。▽関連の面

集会とパレードに取り組む集会などが予定された。鳥取県(8月2日)、岡山県(7月25日)はそれぞれ1500人が参加。滋賀県の集会(20日)には1300人が集まりました。安倍首相の地元・山口県(8月9日)には約500人。日弁連が東京都内で開いたシンポジウムは、350人が集まり、パネリストの山崎拓・元自民党副総裁らの発言に沸きました。今後、弁護士会が主催



「これの子どもをさせない」の横断幕を掲げて行進する「ママの会」の人たち(22日、大分市)

8/23
お旗



藤野教授の講演に聞き入る県弁護士会の憲法問題特別市民講座参加者たち=22日、福島県郡山市

戦争法案反対 若者・弁護士ら

市民の怒り

福島

福島県弁護士会主催の憲法問題特別市民講座が22日、福島県郡山市で開かれ、連年の戦争法案の撤回を求める声が強上がり、同弁護士会の大藤仁会長が「『平和と安全法』と日本国憲法』と題して講演しました。

藤野氏は、安倍内閣の集団的自衛権行使容認を立憲主義の危機と批判するところから、近

隣諸国との関係悪化など重大な事態を引き起こすと指摘。同法案を

「平和と安全法」と題して講演し

た。同弁護士会の大藤仁

会長が「『平和と安全

法』と題して講演しま

した。藤野氏は、安倍内閣

の集団的自衛権行使容

認を立憲主義の危機と

批判するところから、近

隣諸国との関係悪化な

ど重大な事態を引き起

こすと指摘。同法案を

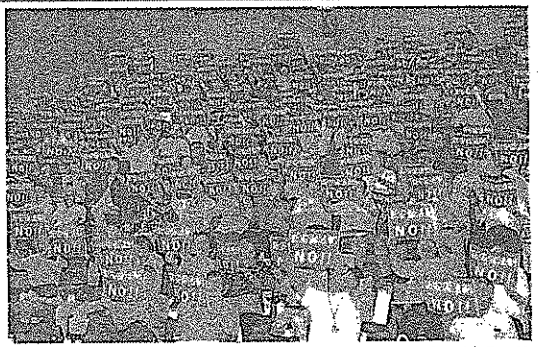
武村氏講演

滋賀

滋賀弁護士会は21日、大津市内で「連年の新安保法制を許さない緊急集会」を開きました。500人が参加しました。

野嶋直副会長は主催者あいさつで「戦争は最大の人権侵害であり、人権が守られるためには平和は絶対に必要です。法案の成立を阻止するため、切れ目のない取り組みを継続していきたい」と力を込めました。

元滋賀県知事の武村正義氏が「安保法案に



「新安保法制 NO!!」のプラカードを掲げ、「安倍政権は憲法に従え」と喝和する参加者=21日、大津市

もの中々」と題して講演し、日本共産党の節木三千代副委員長（真議、民主、社民、制の撤回を求める集会



「安保法制絶対反対!!」「若者を戦場に送るな!!」とシュプレヒコールしながらデモ行進する集会参加者=21日、松山市

一点共通で

愛媛

戦争法案の廃案を求める愛媛緊急集会が21日夕、松山市の城山公園で開かれました。約800人が参加し、集会后、商店街をデモ行進しました。愛媛弁護士会と安保法制法案に反対する愛

超党派真議

宮崎

県内の弁護士有志の呼びかけによる「戦争イヤだ安保法案NO宮崎大集会（主催・実行委員会）が22日、宮崎市で開かれました。約900人が集まり、集会後デモ行進しました。「集団的自衛権に關する法整備に反対する

7月とこの二つの会長声明を出したことを紹介し、「基本的人権の擁護と社会正義の実現を目指す宮崎県弁護士会は同法案を可決成立させないためにも全力で取り組みます」と決意を述べました。

愛媛の学者・文化人の会、憲法9条を守る愛媛県民の会、3団体共催。幅広い市民や団体、日本共産党、民主、社民、新社会党なども参加する画期的な一点共通です。愛媛弁護士会の大藤伸定会長は「安保法案は集団的自衛権行使容認など憲法9条に違反する憲法違反の法案だ。愛媛からも法案反対・廃案の声を上げ、成立をくい止めよう」とあいさつしました。各界の発言で、愛媛医療生協職員の中恵さんは「命を救いたくして医療従事者になったのに、命を奪い合う戦争に参加することは絶対に嫌です」と訴え、松正幸さんは開会あいさつで「安保法案を廃案にするまで運動を続け、一人ひとりが活動の核になって頑張ろう」と呼びかけました。